

その1

夏休みの活動

教育実習生あいさつ

◇初めまして。私は真和志中学校第一期卒業生で現在沖縄大学に通いながら教職に就くことを目指しております、金城正明といいます。

実は真和志中学校には、インターンシップ生として去年から週2回のペースで通わせてもらっていたので、数多くの生徒が私の事を知っているもしくは顔を見た事があるといった状況で、とてもスムーズに生徒と打ち解ける事ができました。

教育実習は3週間と短い期間ですのでその間授業実践などで経験を積む事はもちろんですが、何より生徒とたくさんコミュニケーションを取り、一人でも多くの生徒から話しかけてもらえる実習生であるよう精一杯がんばります。金城正明(社会科)

◇私は、日本大学四年の佐久田真稔と申します。真和志中学校の六一期生です。当時から中学生ながらも体育の先生になりたいと思っており、きっかけを作ってくれたのも真和志中の先生方でした。振り返ってみると、当時の思い出がよみがえると同時にとてもなつかしく、今教育実習生として真和志中で実習を行えている事を嬉しく思います。専門教科は保健体育です。体育の授業では、全学年・全クラスの生徒と関わっていくので、一日でも早く全生徒と接していきたいと思っています。三週間という期間ではありますが、真和志中で多くの事を学び、吸収していけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。佐久田真稔(保健体育)

「第六九回九州数学教育研究大会」が、七月三十一日(金)に県内で開催されました。那覇市内中学校を代表して前原大知先生が公開授業を行い、本校一年生四十一名が参加しました。

当日は、琉大附属中学校に移って授業を行い、九州各県や県内の中学校から多数の数学科の先生方が参観に訪れました。公開授業に参加した生徒の皆さんは、リハーサルとして前日の二日間も登校して授業を行い、当日の授業に臨みました。朝八時に学校集合、姫百合橋バス停まで歩いて移動し、バスに乗って琉大附属中学校へ向かいまし

◇九州数学研究大会沖縄大会
一年生参加!
頑張りました!

学校だより

友 垣

第24号

発行
真和志中学校
中村 斉

学校教育目標

自ら学び
心豊かで
たくましく生きる
生徒の育成

車内



出発



た。初めて入る教室や大勢の参観者に戸惑いや緊張感も見られましたが、開始のベルが鳴るとみんな積極的に授業に取り組みでいました。特に、グループ学習では話し合い活動が活発で、自分の考えを相手に伝えるという基本的な言語活動をしっかり行っていました。

◇読書旬間 九／七月～十／九(金)

校内読書旬間が始まります。「良書に触れることにより豊かな感受性を養う」ことを大きなねらいとしています。旬間中の個人目標冊数を決め、興味・関心のある本をどんどん読んでみましょう。そのためには、読書習慣を身につける「登校したらすぐ読書」を実践して下さい。また、図書委員会が取り組んでいるポスター作成やしおり作りワークショップにも積極的に参加しましょう。感想文や感想画への応募も含めて、全校で「読書の秋」の雰囲気づくりを行っていきましょう。

授業後の研究会では、参加した先生方から「自分の考えを自分のことばでしっかりと説明していた」など、お褒めの感想が多く寄せられたと前原先生から報告がありました。

夏休みにもかかわらず積極的に参加してくれた生徒の皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございます!

話し合い活動



授業開始

参観者

